

平成 29 年度 木育マイスター育成研修 委託業務

業 務 実 施 報 告 書

も く じ

- 事業概要 -----2
- 事業スケジュール -----3
- プログラムの作成
  - プログラム作成 -----4
  - 研修日程の設定 -----4
  - 現地情報の収集 -----5
  - 受講生の募集と選定方法 -----5
- 研修会の実施
  - 第 1 回 -----6
  - 第 2 回 -----8
- O J T の実施 ----- 10
- まとめ ----- 17
- 添付資料 ----- 18
  - ①OJT 自己評価シート
  - ②アンケート集計



## ●事業概要

当事業は、「木育」の理念を十分に理解し、民間における「木育」活動の企画立案や全体的なコーディネートができ、地域において指導的な役割を果たすことができる人材を育成することを目的に、木育マイスター育成研修を行うものである。

木育マイスター育成研修のカリキュラムは6つに分かれており、①木育の理念、②森づくりの仕事や樹木などの基礎知識、③暮らしと産業の関わり、④人の成長過程における木の存在や癒し効果、⑤木育プログラムにおける伝える技術、⑥木育プログラムの考え方と企画のやり方である。

檜山・渡島地域を会場とし、1泊2日の講座を前半（9月上旬）と後半（10月下旬）の2回行った。OJTは、9月上旬から10月中旬に行った。

当カリキュラムを修了すると、「木育マイスター」として北海道に認定され、木育に関する活動機会には指導者として活躍することが期待されている。平成29年度の第8期生として24名の木育マイスターが誕生することとなる。

### ・本事業における業務

#### 1)受講者の募集

道内の木育の実践者や木育関連団体への広報を行う。

メディアリリースなどで広く一般からも参加者を募る。

#### 2)研修会の開催

「木育達人入門」をテキストとし、室内講義と実習においてテキスト内容を全て履修できるカリキュラム設定を行う。

第1回目と第2回目の2回に分けて、研修会を行う。

#### 3)OJT研修の実施

室内講義や実習で習得した内容を実践するためのOJTを実施する。



## ●事業スケジュール

---

### ■事業スケジュール

講師陣の意見を聞き、前年までの講座の反省点を活かしてよりよい研修にするよう、カリキュラムの詳細を検討した。会場となる場所の下見と関係者との打ち合わせを綿密に行い、その地域の特徴を活用した研修プログラムづくりを行った。

6月下旬～7月中旬	講師陣と打合せ、研修日程、会場等決定、広報準備
7月14日	受講生募集の広報開始
7月31日	応募締切・選定
7月中旬～8月下旬	第1回講座関係団体と打合せ、OJT受入れ団体との調整
9月3日-4日	第1回講座
9月上旬～10月中旬	第2回講座関係団体・講師と打合せ、OJT受入れ団体との調整
9月5日	OJT第1回目実施
10月15日	OJT最終回実施
10月29日-30日	第2回講座



## ●プログラムの作成

### ■プログラム作成

テキスト「木育達人入門」に基づき、プログラムはテキストの章立てに合わせ、第1章から第6章の内容を2日間×2回の全4日間と、OJTを一回以上受講することとした。当プログラムは、体験学習法を取り入れ、①まずはやってみる、②なぜそうなのかを考える、③次にどうするかを考えるという学びの循環過程を意識した。

過年度研修のアンケート結果などを踏まえ、よりわかりやすく実践的なカリキュラムになるよう、講師や内容の検討を行い、プログラムを作成した。

### ■研修日程の設定

野外でも活動しやすい、秋の季節に研修を行うこととし、日程を設定した。平日勤務の方も土日勤務の方も参加しやすいよう、日曜・月曜の研修とした。

#### ◆第1回目 2017/9/3(日)～4(月)

##### 【9/3】

時間	章	カリキュラム	講師	内容	時間	会場
10:00		開会式				緑町コミュニティセンター
10:30～ 12:00	5章1	体験学習の理解	宮本 英樹	体験から概念へと つなげていく学習法	1.5H	
12:00		昼食				
13:00～ 15:30	2章	木とふれあい、木に学ぶ	宮本 英樹	森林の定義、 北海道の森林の特徴 木材の構造と性質	2.5H	レクの森
15:30～ 17:30	5章 2-3	木育はつながりのキーワード ～プログラムの伝え方～	宮本 英樹	伝える技術	2H	緑町コミュニティセンター

##### 【9/4】

時間	章	カリキュラム	講師	内容	時間	会場
9:00～ 12:00	1章	木育の理念	煙山泰子	木育が生まれた背景と 現在の位置づけ	3H	緑町コミュニティセンター
12:00		昼食				
13:00～ 15:00	3章	木と生きる ～暮らしと産業～	宮本 英樹	林業・木材産業の今	2H	鈴木木材
15:00～ 17:00	4章	木と生きる ～人の成長と木の関係～	宮本 英樹	子供の発達の特性と 過程、人を癒す木の働き	2H	緑町コミュニティセンター

◆第2回目 2017/10/29(日)～30(月)

【10/29】

時間	章	カリキュラム	講師	内容	時間	会場
13:00～ 15:00	2章	木とふれあい、木に学ぶ	宮本 英樹	森林の定義、 北海道の森林の特徴 林業体験	2H	ミュゼ
15:00～ 17:00	3章	木と生きる ～暮らしと産業～	煙山 泰子	木工体験	2H	

【10/30】

時間	章	カリキュラム	講師	内容	時間	会場
9:00～ 11:30	3章	木と生きる ～暮らしと産業～	西川 栄明	生活の中の木、 木の道具	2.5H	ミュゼ
11:30～ 12:30	6章	木育はつながりのキーワード ～プログラムの作り方～	宮本 英樹	プログラム作りで 大切にしたいこと	1H	
12:30		昼食				
13:30～ 17:00	6章	木育はつながりのキーワード ～プログラムの作り方～	宮本 英樹	プログラム作りの基礎、 模擬演習	3.5H	

## ■現地情報の収集

現地情報の収集は弊社のネットワークのほか、木育ファミリーのネットワークや、平成22～28年度研修の受講生である木育マイスターに協力してもらい、行った。研修会場である厚沢部町及び七飯町では木育マイスターに協力いただき、研修会場や周囲の森について情報を共有し、研修内容についての打合せを行い、研修内容を決定した。

情報収集の際、現地の自然資源、文化資源、人的資源を把握し、研修会を実施する際の素材の整理と危険要因の有無を確認した。

## ■受講生の募集と選定方法

受講生の募集方法は、広く一般に公募した。北海道新聞へのメディアリリース、北海道と弊社のHPへの掲載、北海道内の木育関係施設への募集チラシの配布を行った。また、「わくわく木育通信」など木育関係者に対するの情報提供を行った。平成29年度より応募の際に「研修の受講目的及び自身の得意分野」についてのレポートの提出を実施した。定員20名に対して46名の応募があり、地域優先枠として4名増やし、抽選により24名の受講生を決定した。

## ●研修会の実施

### ■第1回目 平成29年9月3日-9月4日

◆1日目(9/3) 厚沢部町 緑町コミュニティセンター 受講者数：24名

10:15 開会式

10:30 体験学習の理解

(北海道観光まちづくりセンター 宮本英樹)

体験を通して概念を理解する、「体験学習」の教育手法を学ぶため、受講生たちが実際に体験学習のアクティビティを体験し、アイスブレイクの大切さ、人にもものを伝えるための手法を学んだ。



12:00 昼食

13:00 木とふれあい、木に学ぶ

(北海道観光まちづくりセンター 宮本英樹)

北海道の森林の特徴としての説明があり、道南、道北、道東と北海道内でも地域によって森林や自生している木が違うことなどを説明。今回は道南地区での開催であったため、道南の森林の特徴を主に学んだ。座学の後は、外へでて、実際の木に触れ、観察するなど、五感全てを使って森を知るゲーム方式で、今後受講生が木育マイスターとして活動して行くのに必要な知識の基礎を学んだ。



15:30 木育はつながりのキーワード

～プログラムの伝え方～

(北海道観光まちづくりセンター 宮本英樹)

直前の講義での「体験活動」の、ストーリー、ねらい、コンセプトなどを解説。外で拾ってきたものをさらに観察した。「木」の絵を描くという課題に対しては、直前に描いた抽象的なものではなく、どの木を描いたのか、特徴を捉えた絵が描けるなど、木や森をよく観察し、五感で体験したことが伺えた。



17:00 終了

◆2日目(9/4) 厚沢部町 緑町コミュニティセンター 受講者数: 24名

9:00 木育の理念 (KEM工房 煙山泰子)

木育の理念を理解することを目的に、木育や木育マイスターの目指すものについて学んだ。

日本の森には様々な樹種があり、それらが材になった時の違いを、五感で感じる方法が紹介された。

木で作られた様々な道具・おもちゃや、「木育の玉手箱」を使い、五感の重要性を体験し、木育のイメージを広げた。また、様々な木育事例やプログラムの事例を紹介し、木育の幅広さを認識した。

木のマグネットづくりを行い、針葉樹と広葉樹の違い、加工のしやすさ、しにくさなどを体感した。



12:00 昼食

13:00 木と生きる～暮らしと産業～

(鈴木木材)

森の木が木材になる過程を理解するために、厚沢部町の鈴木木材で、土場と工場の見学を行った。

土場に並ぶ全道から届けられた 10 種以上の広葉樹を一本一本鈴木さんの解説付きで案内いただいた。工場の内部では針葉樹とは違い、複雑にねじれや曲がりのある広葉樹を綺麗に製材して行く技術は圧巻であった。

製材過程で出た端材を利活用した、机や木工作品も製造、販売しており広葉樹製品の良さを解説いただいた。



15:00 木と生きる～人の成長と木の関係～

(北海道観光まちづくりセンター 宮本英樹)

子どもの成長には、子どもの「個性」と発達度合いに合わせた「課題」、「環境」の3つが大事だが、都市化社会ではその3つの歯車がかみ合っていない。歯車がかみ合う、多様な自然の中で育つことの大切さについての話があった。そういった活動の一つとして森のようちえんを紹介しその特徴と効果を解説した。



17:00 終了



## ■第2回目 平成 29 年 10 月 29 日-10 月 30 日

◆1 日目 (10/29) 大沼流山牧場 Paard Muse 受講者数：24 名

13:00 木とふれあい、木に学ぶ

(北海道観光まちづくりセンター 宮本英樹)

研修会場である大沼流山牧場 Paard Muse は森の中にある牧場であるため、森の開拓を自らの手で行い、切った木の搬出は馬を利用したり、森の恵であるメイプルシロップを生産したり、薪を活用したりと、木と、人と、動物とが共生した環境を実際に体験し、木や森を中心とした新しい繋がりを体験した。



15:00 木と生きる～暮らしと産業～

(KEM 工房 煙山泰子)

実際に自分たちで木に触れて、ものづくりすることの楽しさを学ぶため、木工体験を行なった。

直前の講義で自らの手で間伐した木を使い、生木を加工するグリーンウッドワークの手法で、小さな家、ツリーを作った。自分で木を切り、削り、穴を開け、色を塗り、ものを作ることで、木に触ることやものづくりの楽しさ、達成感を体験として学んだ。



17:00 終了

◆2 日目 (10/30) 大沼流山牧場 Paard Muse 受講者数：24 名

9:00 木と生きる～暮らしと産業～

(ノンフィクションライター 西川栄明)

木育マイスターとはどういう存在かについて説明があり、マイスターとしての自覚を持つことや企画力の重要性について再認識した。木育プログラムの企画立案のヒントとして色々な事例の紹介があった。また、木材製品の歴史や特徴について理解することを目的に、木の道具、木の文化や習慣などの歴史的背景についてスライドを見ながら講義を受けた。昔から、木の道具を作る際、材料となる木が材質によって使い分けられてきたことを学んだ。



11:30 木育はつながりのキーワード

～プログラムの作り方～

(北海道観光まちづくりセンター 宮本英樹)

受講生一人一人の OJT の体験を全体で共有し、共通する重要なキーワードに着目したことで、個人の体験を踏まえた学びの促進ができた。

木育プログラム、企画を組み立てる際に重要な、コンセプト（主旨、ねらい）づくりについて学んだ。

自分の思いを形にして伝えるためにはマーケット分析が大事なことや、企画・実施・評価を繰り返し、フィードバックしていくことでよりよいプログラムができていくことを学んだ。

また、プログラムを実施する際の導入から本体、まとめの流れについて、人の興味を引き、飽きさせない手法についても教わった。



12:30 昼食

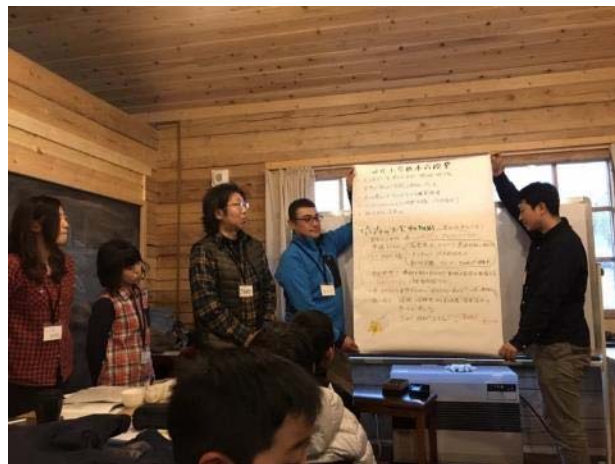
13:30 木育はつながりのキーワード

～プログラムの作り方～

(北海道観光まちづくりセンター 宮本英樹)

プログラムづくりの実践として、受講生自身が現在行っている活動等に関連して、取り組みたいテーマを提案してもらい、そのテーマについてグループワークにより4つのプログラムの企画・発表をした。

最後は各自の「木育宣言」をひとりひとりが読み上げ、全4日間の研修のまとめとした。



17:00 終了

## ●OJTの実施

OJTは第1回研修と第2回研修の間に実施することで、その経験を、後半の第2回研修に活かせるようにした。道内全域（道央地域、道北地域、十勝地域、道東地域、道南地域）で計27個のOJTを設定し、そのうち17個のOJTに参加があった。OJT実施に当たっては、受け入れの担当者と調整を行い、研修生の学びに重点を置いたサポートを依頼した。

OJT当日は、プログラムの事前準備や打合せ、振り返りまで参加してもらい、イベントを運営するマネジメント手法や実際のプログラム手法、注意点などを体験的に学んだ。OJT終了後は、研修生に自己評価シートに自分の役割、評価・反省点、感想などを記入してもらうことで、OJTの内容を振り返り、今後の自身の活動に生かせるようにした。

番号	日程	講師	場所	内容	受講人数(延べ人数)
1	毎週火曜日	札幌まるやま 自然学校	円山動物園とその周辺	小学生の放課後自然体験活動	1
2	毎週木曜日	札幌まるやま 自然学校	円山動物園とその周辺	小学生の放課後自然体験活動	0
3	9月24・25日	札幌まるやま 自然学校	江別市の保育園	幼児親子向けプレーパーク	1
4	9月26日	札幌まるやま 自然学校	滝野すずらん公園	小学校の宿泊学習プログラム運営サポート	1
5	9月10日	宮川 多恵	野幌森林公園 (北海道開拓の村)	道民森づくりネットワークの集い	1
6	10月15日	未定	道民の森 神居尻地区(当別町)	北海道・木育(もくいく)フェスタ2017 第68回北海道植樹祭 植樹祭・育樹祭	0
7	毎週水曜日	上田・井上	ひかりの国幼稚園	幼稚園児の自然体験活動	0
8	毎週月曜日	上田・井上	ひかりの国幼稚園	小学生の自然体験活動	2
9	9月23・24日	孫田・富田	苫東・和みの森	子どもキャンプ(秘密基地づくり・森林整備)	1
10	9月23日	上田・井上	苫東・和みの森	森林整備	0
11	9月7・8日	大雪山 自然学校	キトウシ森林公園(東川町)	幼児を対象とした自然体験プログラムの補助	1

12	9月16日	大雪山 自然学校	キトウシ森林公園(東 川町)	幼児から大人までを対象とした、市民参加型森 づくりプログラムの補助	1
13	9月28日	大雪山 自然学校	キトウシ森林公園(東 川町)	シニアを対象とした森林ウォーキングプログラ ムの補助	1
14	10月14日	大雪山 自然学校	旭岳温泉街野営場 (東川町)	東川町学童保育センターの児童を対象とした自 然体験プログラム	3
15	9月21日	日月 伸	帯広の森・はぐく一む	幼稚園を対象とした森林体験(木の赤ちゃんの おひっこし)	0
16	9月22日	日月 伸	帯広の森・はぐく一む	小学校の森林体験学習(火おこし、焼き芋その 他)	2
17	10月4日	日月 伸	帯広の森・はぐく一む	「もりのこひろば」乳幼児親子を対象とした森の 活動(森のおさんぽ)	0
18	10月15日	日月 伸	帯広の森・はぐく一む	はぐく一む秋まつり 間伐、落葉のプール、木工、 馬搬など森に関する様々な体験	4
19	10月15日	兼沢和治	興部町・中央公民館	オホーツク親子で楽しむ木育体験～いす作りだ ヨ！全員集合～(仮称)	0
20	9月23日	塚本 久仁佳 鈴木 憲太郎	釧路短期大学	『だいでいすプロジェクト』 パパ対象のプログラムで、赤ちゃんのイス作り	1
21	9月9日 (土)	柴田・鈴木・ 萩原・高橋	釧路小学校 4階図工 室等	小学校6年生を対象としたマイ箸づくり、コース ターづくり、原木カスターネットづくり等	0
22	2017/10/1 (日)	木育マスター 道東支部	弟子屈町内	国有林の現場見学・軽作業など屋外の活動や、 木工体験等を実施予定	0
23	9月16・17 日	鈴木・宮川・桂・ 戸巻	東京有楽町 無印良品	道南スギのイス・桶作り、北海道の遊具コーナー	1
24	10月1日	加藤・鈴木・ 早坂	大沼流山牧場	木育フェスタ(様々な木育ブースのお手伝い)	7
25	9月23日	鈴木 正樹	函館市蛾眉野、北斗 市大工	無印良品体験バスツアー(植樹、収穫体験)	1
26	9月24日	鈴木 正樹	函館市ツインタワー 1階	クリスマス用のオーナメント作り	0
27	10月14日 ～15日	鈴木 正樹	北海道教育大学 函館校	木の玉作り、マイ箸作り	3

1. 9/19 (火) 14:00~18:30

講 師：札幌まるやま自然学校  
木育マイスター 高野克也  
場 所：円山動物園とその周辺  
参 加 者：子ども4名  
OJT 受 講 者：蒔田 佳奈  
内 容：小学生の放課後自然体験活動



3. 9/24・25 (日・月) 9:00~16:00

講 師：札幌まるやま自然学校  
木育マイスター 高野克也  
場 所：江別市の保育園  
参 加 者：子ども20名、大人30名  
OJT 受 講 者：寺下雄気  
内 容：幼児親子向けプレーパーク



4. 9月26日 (火) 10:00~17:00

講 師：札幌まるやま自然学校  
木育マイスター 高野克也  
場 所：札幌市滝野すずらん公園  
参 加 者：小学生90名  
OJT 受 講 者：草刈万里子  
内 容：小学校の宿泊学習プログラム運営  
サポート



5. 9月10日 (日) 10:00~15:00

講 師：木育マイスター 宮川多恵  
場 所：野幌森林公園 (北海道開拓の村)  
参 加 者：子ども、大人とも多数  
OJT 受 講 者：宮島弘之  
内 容：道民森づくりネットワークの集い



8. 9/11、9/25（月）14：30～18：00  
 講師：NPO 法人いぶり自然学校  
 場所：苫小牧市 ひかりの国幼稚園  
 参加者：小学生8名 大人4名  
 OJT 受講者：水本絵夢 谷本美貴  
 内容：放課後の小学生の自然体験活動



9. 9/23（土）8：30～17：00  
 講師：NPO 法人いぶり自然学校  
 場所：苫小牧市 苫東・和みの森  
 参加者：子ども30名  
 OJT 受講者：石田達也  
 内容：子どもキャンプ  
 （秘密基地づくり・森林整備）



11. 9/8（金）9：30～11：00  
 講師：NPO 法人大雪山自然学校  
 場所：東川町 キトウシ森林公園  
 参加者：子ども31名、大人4名  
 OJT 受講者：新井久美子  
 内容：幼児を対象とした  
 自然体験プログラムの補助



12. 9/16（土）9：00～15：30  
 講師：NPO 法人大雪山自然学校  
 場所：東川町 キトウシ森林公園  
 参加者：子ども1名、大人10名  
 OJT 受講者：飯田賢治  
 内容：幼児から大人までを対象とした、市民  
 参加型森づくりプログラムの補助



13. 9/28 (木) 9:00~12:00

講師：NPO 法人大雪山自然学校  
場所：東川町 キトウシ森林公園  
参加者：大人 16 名  
OJT 受講者：飯田賢治  
内容：シニアを対象とした森林ウォーキングプログラムの補助



14. 10/14 (土) 8:30~12:30

講師：NPO 法人大雪山自然学校  
場所：東川町 旭岳温泉街野営場  
参加者：子ども 30 名、大人 11 名  
OJT 受講者：村林優香、山本遥、齋藤美紀子  
内容：東川町学童保育センターの児童を対象とした自然体験プログラム



16. 9/22 (金) 9:30~13:30

講師：木育マイスター 日月伸  
場所：帯広市 帯広の森はぐく一む  
参加者：小学生 82 名  
OJT 受講者：草刈万里子、崎川哲一  
内容：小学校の森林体験学習（火おこし、焼き芋その他）



18. 10/15 (日) 10:00~15:00

講師：木育マイスター 日月伸  
場所：帯広市 帯広の森はぐく一む  
参加者：子ども、大人とも多数  
OJT 受講者：原弘治、小嶋若菜、草刈万里子、西脇 宏伸  
内容：はぐく一む秋まつり 間伐、落葉のプール、木工、馬搬など森に関する様々な体験をする一大イベント



20. 9/23 (土) 10:00~12:00

講師：木育マイスター 塚本久仁佳  
場所：釧路市 釧路短期大学  
参加者：大人 30名  
OJT 受講者：野村香  
内容：『だいす木ッズプロジェクト』  
パパ対象のプログラムで、赤ちゃんの  
イス作りを行います。



23. 9/16、17 (土、日) 9:00~15:00

講師：木育マイスター鈴木・宮川・桂・戸巻  
場所：東京都有楽町 無印良品  
参加者：子ども約 30名、大人約 20名  
OJT 受講者：水山 淳史  
内容：道南スギのイス・桶作り、北海道の遊  
具コーナー



24. 10/1 (日) 8:00~16:00

講師：木育マイスター道南支部  
場所：七飯町 流山温泉  
参加者：大人、子ども合わせて 600 人程度  
OJT 受講者：谷本美貴、小熊教之、澤谷敦、  
水本絵夢、細畑利典、坂本香、  
小嶋若菜  
内容：子ども～大人対象のプログラム  
道南木育フェスタで、クラフト体験



25. 9/23 (土) 9:00~16:00

講師：木育マイスター 鈴木正樹  
場所：函館市蛾眉野、北斗市大工  
参加者：親子 20組 40名  
OJT 受講者：小山田健  
内容：無印良品体験バスツアー (植樹、収穫  
体験)





27. 10/14、15（土、日）9：00～16：00

講 師：木育マイスター 鈴木正樹  
場 所：函館市 北海道教育大学函館校  
参 加 者：子ども約 100 名、大人約 40 名  
OJT 受 講 者：岩崎渉、水山淳史、石田達也  
内 容：木の玉作り、マイ箸作り



## ●まとめ

---

### ・受講人数について

平成 29 年度木育マイスター育成研修は、定員 20 名のところ、2 倍以上の 46 名の申し込みがあったため、地域優先枠として 4 名増やし、抽選で 24 名に絞り受講者を決定した。全てのカリキュラムに参加できなかった人もいたが、補講やレポート提出で対応し、全員の受講生が研修カリキュラムを修了した。

### ・会場について

今年度は、檜山地域の厚沢部町と渡島地区の七飯町大沼の 2 会場で実施した。北海道でも有数の広葉樹の 1 次加工工場を見学した。アンケートでは遠方からの参加者が多かったため遠かったとのコメントも見受けられたが、メインの研修会場は立地、環境は整っていた。大浴場がなく、不便な点もあった。

### ・研修時期について

講座は、秋（第 1 回目が 9 月、第 2 回目が 10 月）に実施した。OJT は 1 回目と 2 回目の間（9 月上旬～10 月中旬）に行い、OJT で経験したことを第 2 回目研修で活かせるようにしたことで、第 2 回目研修の際に受講生の理解がより深まったと思われる。

### ・カリキュラム・スケジュールについて

研修終了後に受講生から取ったアンケートによると、カリキュラムについては概ね満足を得られている。講座の時間もちょうどいいと答えている方が多く見受けられた。傾向としては、体を動かしたり、グループで話し合ったりなどのカリキュラムは時間が短く、座学の講座は時間が長く感じると回答しているように思う。

### ・今後の木育について

平成 22 年度から実施されている本研修であるが、22 年～28 年で、合計 200 名の木育マイスターが誕生した。今年度、新たに 24 名のマイスターがそれに加わり、合計 224 名となる。木育マイスター 1～7 期生は、木育マイスターメーリングリスト内で情報交換、意見交換などを行い、交流が進んでいる。また、今年度研修の OJT の受入先となっていただいたり、各人の地域・会社などで木育プログラムを行ったり、各地域のマイスターが集まって木育フェスタを実施したりと、それぞれの地域・立場で活躍中である。今年度の 8 期生も先輩マイスターに続き、活躍が期待される。

今後、さらに北海道の木育の普及を推進していくためには、この 8 年間の研修で誕生した木育マイスター同士のネットワークをより強固なものとし、協力しあって木育の普及に取り組んでいくことが必要である。また、木育マイスターとなった後のフォローアップも重要である。

今年度の研修では、定員の 2 倍以上の申し込みがあり、この研修の受講希望者はまだまだいると思われる。また、今回初めて取り組んだ応募の際のレポートには皆木育にかける思い、木育マイスターとしてやりたいことが記載されていました。北海道の木育を進めていくためにも、本研修は継続して行われる必要があり、より多くの方に機会と場を提供されるべきと考える。